

「知的財産権活用企業事例集2014」 の刊行に寄せて

～知財を武器に躍動する企業に学ぶ～

我が国の中小企業・小規模事業者は、革新的な技術の創造の担い手として、また、地域経済の担い手として、日本経済の根幹を支えています。

いつの世も、未来を切り開くのは、目の前の困難に怯まず、新たに挑戦しようとする気概です。知的財産は、そうした気概を持つ中小企業・小規模事業者の味方であり、最強の武器となるものです。

創意工夫を凝らして生み出した新技術やデザインを守り抜く。信頼をブランドに変え、新しい価値を生み出す。金融機関や投資家から高い評価を得て、支援を引き出す。いずれも、知的財産権の持つ大きな力に他なりません。

実際、知的財産権を飛躍のバネとして、世界を舞台に輝きをまとい、躍動を続ける中小企業・小規模事業者が数多く存在しています。

他方で、こんな声もよく耳にします。

「知財が大事なことは分かるが、何から始めたらよいのか分からない」

「特許や商標を取ったけど、どのように権利を活用したらよいのか分からない」

この冊子は、こうした声に応え、知的財産権を武器にして躍動する企業の具体例を紹介するものです。

まずは、この冊子のページをめくって、139社の具体事例をいくつか眺めてみて下さい。ご自身の事業に応用したり、あるいは新たな事業を始めたりするにあたって、様々なヒントが詰まっているはずです。

2014年版は、冊子を使いやすくするために、業態別に整理し、似通った課題毎にインデックスを付けるなど、編集面でも工夫を凝らしました。

本事例集が、新たな中小企業の技術を発掘するきっかけとなり、全国各地の中小企業・小規模事業者の新たな知的財産戦略や事業活動の道しるべとなることを祈っています。

2014年 2月

経済産業大臣

茂木 敏充

